

お詫びと訂正

『なぜ金利が上がると債券は下がるのか?』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

本書につきまして誤りがございましたので、下記の通り訂正させていただきます。
読者のみなさまにおかれましては、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

記

◎ p. 84 ページ **説 例** の枠内：下から 2 行目

【誤】 ・ 1 年当たりの値上がり益 ; 3.5 銭 ((100 円－100 円 35 銭) / 10 年)

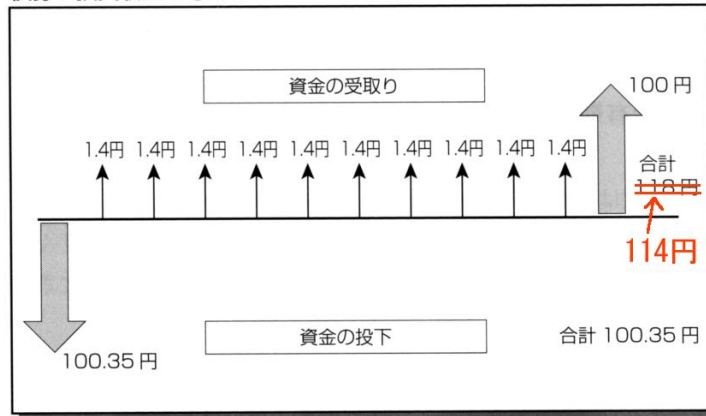


【正】 ・ 1 年当たりの値下がり損 ; 3.5 銭 ((100 円－100 円 35 銭) / 10 年)

◎ p. 85 ページ [フロー図] 債券の投資収益を考える：下から 2 行目

【正】

債券の投資収益を考える



◎ p. 85 ページ 本文：上から 1 ～ 2 行目

【誤】 したがって、この債券の 1 年当たりの平均収益を投下元本で割った利回りは、次の式から 1.429% となります。

$$\text{利回り} = \frac{1.4 \text{ 円} + 3.5 \text{ 銭}}{100 \text{ 円 } 35 \text{ 銭}} \times 100 = 1.429 (\%)$$

(小数点 3 位未満切り捨て)



【正】 したがって、この債券の 1 年当たりの平均収益を投下元本で割った利回りは、次の式から 1.350% となります。

$$\text{利回り} = \frac{1.4 \text{ 円} - 3.5 \text{ 銭}}{100 \text{ 円 } 35 \text{ 銭}} \times 100 = 1.360 (\%)$$

(小数点 3 位未満切り捨て)

以上